

平成26年（ネ）第126号 大飯原発3, 4号機運転差止請求控訴事件

一審原告 松田正 外184名

一審被告 関西電力株式会社

証 拠 説 明 書

(甲494号証=第35準備書面関係)

平成29年10月18日

名古屋高等裁判所金沢支部民事部第1部C1係 御中

一審原告ら訴訟代理人弁護士 島 田 広

同 弁護士 笠 原 一 浩

ほか

*以下はすべて写しである。

号 証	標 目 (原本写しの別)	作 成 年月日	作成者	立 証 趣 旨	備考
甲494	意見書	H29.9.30	石井吉徳	今日、石油開発業界等では3次元地震探査を行って地下構造を把握しているが、一審被告は2次元探査しか行っておらず、今日の科学的知見に照らし、不合理な調査と言わざるを得ないこと 等	
甲495	論文「石油・天然ガス分野における物理探査の現状と将来」	H20.10.21	社団法人 物理探査学会 石油天然ガス・サブWG	福島原発事故以前において既に、三次元反射法地震探査技術の登場に代表されるデータ収録・処理・解析方法の飛躍的な発展がみられたこと 等	
甲496	論文「貯留槽モデルの構築のための地震探査データの高分解能化処理」	同上	伴英明	三次元地震探査データの具体例	